

一緒に活動してみませんか？

保健福祉課 内線621



鬼北町精神保健ボランティアグループ「つつじ」は、心の健康について理解を深め、精神障害者の社会参加を進めるために平成17年に結成されました。

主な活動として、毎月第1月曜日の定例会を軸に、七夕会やクリスマス会、わかば作業所への協力、「でここんか」では会員の手作り小物の販売やフリーマーケット等、わきあいあいと多彩な活動をして

おります。また、講師を招いた勉強会や、研修会も実施しています。過去に、精神保健ボランティア講座を受講された方や、心の健康に関心のある方など、一緒に活動してみませんか？

「つつじ」に関心のある方は、地域の「つつじ」会員、若しくは保健福祉課保健係までご連絡ください。

春季火災予防運動

総務課 内線234

期間 3月1日（土）～3月7日（金）の一週間

全国統一防火標語

「火は見てる あなたが離れるその時を」

重点目標

- ① 住宅防火対策の推進（住宅用火災警報器の設置等）
- ② 地域における防火安全対策の充実（災害発生時の避難協力体制の確立）
- ③ 高齢者等が入居する施設等の防火安全対策の推進
- ④ 不特定多数の人が出入りする事業所等における防火安全対策の徹底

⑤ 乾燥時および強風時の火災発生防止対策の推進（たき火等火気管理の徹底）

住宅防火いのちを守る7つのポイント

- 3つの習慣
- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストープは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

4つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する。
- 寝具、衣類およびカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する。
- 高齢者や身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる。

防災メモ

家具転倒防止について

家具配置等の工夫

家具の配置と就寝の位置については、壁を背にした家具は前方に倒れてきますから、就寝位置は、家具の高さ分だけ離れるか、家具の脇とした方が安全です。

また、家具が倒れても出入口が塞がれないように、家具は出入口付近に置かない、あるいは倒れても通り抜ける空間を残せる位置に置くなど、部屋の状況にあわせて工夫することが大切です。

具体的な転倒防止対策

配置の工夫だけではやはり限界があります。タンスや本棚などをL字金具や支え棒などで固定したり、食器棚に扉が開かないための金具を取り付けたり、または冷蔵庫を転倒防止用ベルトで固定するなど、具体的な転倒防止策を講じることが必要です。これらの器具については、家電メーカー・家具メーカーやその取扱店に問い合わせるか、ホームセンター等で販売されているものを活用しても良いでしょう。ちょっとした意識の違いによって、大きな被害を避けられることがあります。まずは身近でできることから始めてはいかがでしょうか。